

北陸新幹線レポート 《第16号》

～響くつち音、広がる未来～

令和4年 12月 27日発行

本レポートでは、県民のみなさんに100年に1度のプロジェクトである新幹線事業を見て、感じていただけるよう、今しか見ることができない工事の状況をはじめ、北陸新幹線に関する様々な情報を随時提供していきます。

新幹線3駅舎の建築工事が完了しました！

令和6年春の福井・敦賀開業に合わせて、県内には4つの新幹線駅ができます。そのうち、**芦原温泉駅、福井駅、越前たけふ駅の3駅は、今年の8月～9月にかけて駅舎の建築工事が完了しました。**残る敦賀駅は、令和5年秋頃に完了する見込みです。

○芦原温泉駅

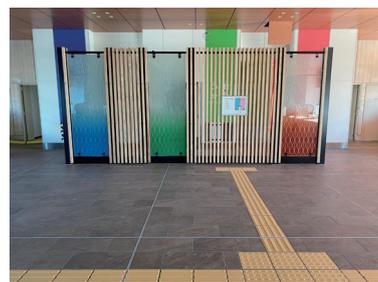
令和2年11月より本格的に建築工事が進められ、令和4年9月21日に建築工事が完了しました。



令和4年9月撮影
駅舎外観



コンコース



県産木材と和紙を用いた
旅客トイレ前の目隠し壁

○福井駅

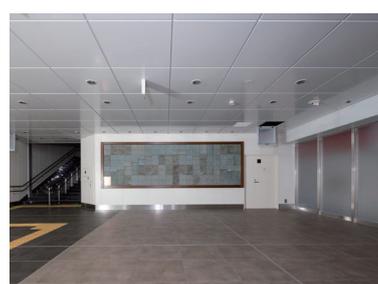
令和2年10月より本格的に建築工事が進められ、令和4年8月25日に建築工事が完了しました。



令和4年8月撮影
駅舎外観



コンコース



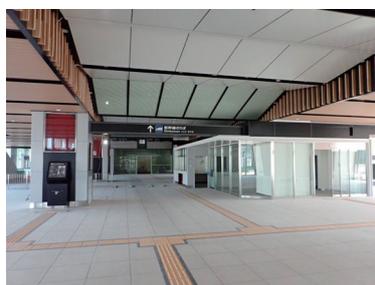
コンコースに設置されている
笏谷石のレリーフ

○越前たけふ駅

令和2年11月より本格的に建築工事が進められ、令和4年9月21日に建築工事が完了しました。



令和4年9月撮影
駅舎外観



コンコース



越前和紙を用いた
コンコース待合室

北陸新幹線開業実感ウォークに約600名が参加しました！

9月17日～18日、25日に、多くの県民のみなさまに福井・敦賀開業を実感していただくことを目的に「北陸新幹線開業実感ウォーク」を開催しました。敦賀車両基地から越前加賀県境の館（あわら市）までを約600名の参加者がウォーキングとランニングでつなぎ、県境では金沢駅からリレーをつないできた石川県の参加者と合流し、セレモニーを開催しました。



リレーウォークの様子



到着セレモニー（県境の館）

大阪の天王寺公園で早期全線開業をPRしました！

10月16日、大阪市内の天王寺公園で開催された鉄道150周年記念イベント「駅祭ティンク2022」に出展し、1日も早い全線開業をPRしました。プラレール展示やグッズ配布、クイズ大会などを行ったほか、早期全線開業に向けた応援メッセージを募集したところ、1日で559件もの応援メッセージが集まりました。



PRブース



メッセージボード

関西で整備促進シンポジウムが開催されました！

11月25日、早期全線整備に向けた理解促進と関西圏における機運醸成を目的に、「北陸新幹線整備促進シンポジウム in 関西」が大阪で開催されました。家田政策研究大学院大学特別教授による基調講演やトークセッションが行われ、WEB視聴を含め約460名が参加しました。



杉本福井県知事挨拶



トークセッション

発行：福井県地域戦略部新幹線建設推進課
〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1
TEL：0776-20-0298

Email：shinkansen@pref.fukui.lg.jp

写真提供：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、敦賀市、関西広域連合

建設現場の定点写真、広報動画を公式Youtubeで公開中！

福井県 新幹線工事



TSURUGA POLT SQUARE 「otta」 がオープンしました！

9月1日、敦賀駅西地区にTSURUGA POLT SQUARE 「otta」 が誕生しました。

「otta」は敦賀の玄関口にふさわしい市民と来訪者の交流や賑わいの創出の拠点となるよう、約8,000㎡の敷地にビジネスホテル、飲食店・物販施設のほか、知育・啓発施設である「TSURUGA BOOKS&COMMONS『ちえなみき』」が整備されています。

また、中心には芝生が広がる「駅西広場公園」が整備され、各施設をキャノピー（ひさし）で繋ぐことにより回遊性の高いコミュニティスポットになっています。



完成式典（8/30）



TSURUGA BOOKS&COMMONS『ちえなみき』

道の駅「越前たけふ」などが来年3月に供用開始されます！

越前たけふ駅周辺で整備している道の駅「越前たけふ」と主要地方道 武生インター線（越前市庄町～大屋町）、一般県道 越前たけふ駅線（越前市大屋町）が令和5年3月18日に供用開始される見込みとなりました。

道の駅「越前たけふ」は、**伝統産業をはじめとした地域の魅力を伝え、観光を促す広域交流の起点としての賑わいの創出**が期待されるほか、災害時の避難場所としての活用も期待されます。

武生インター線と越前たけふ駅線は越前たけふ駅と武生ICおよび国道8号を結ぶことから、**周辺観光地への誘客や地域の活性化**が期待されます。



武生インター線と越前たけふ駅線



道の駅「越前たけふ」

北陸新幹線が横を走る「新九頭竜橋」が開通しました！

10月22日、**新九頭竜橋（県道福井森田丸岡線）**が開通しました。この橋りょうは、新幹線高架橋（九頭竜川橋りょう）と橋きやくを共有しており、**全国初の新幹線と道路の併用橋**となります。

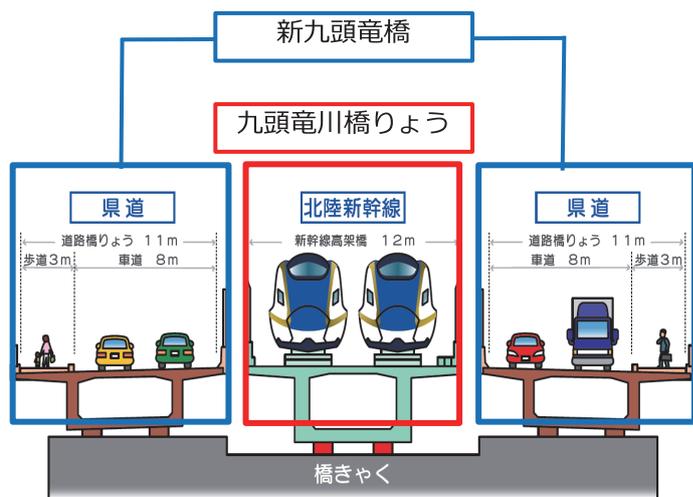
新九頭竜橋は、全長約415m、片側2車線（歩道あり）となっており、この橋の開通により国道8号やフェニックス通りの渋滞緩和が図られています。

また、同日には「新九頭竜橋開通メモリアルラン」が行われ、親子連れや市民ランナーなど約800名が参加し、記念のランニングを楽しみました。

北陸新幹線が通る「九頭竜川橋りょう」は、現在、令和6年春の福井・敦賀開業に向けて、電気工事が進められています。



新九頭竜橋、九頭竜川橋りょう



断面図

あれはなんだろう？ ～保守用斜路～

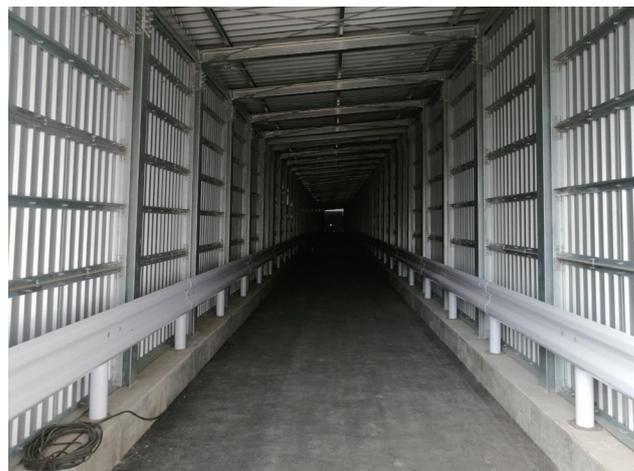
地上から高架橋まで伸びる通路。これは**保守用斜路**です。

線路内をメンテナンスする車や作業員が、地上から線路内に立ち入るために設置される通路になります。

保守用斜路は、建設主体である鉄道・運輸機構と営業主体のJR西日本との調整により、車のアクセス性や土地の広さなどが考慮され、おおむね5～10kmおきに設置されており、工事延長が約115kmの金沢・敦賀間には、計16箇所設けられています。



保守用斜路（あわら市稲越）



保守用斜路 内部